

第2期坂戸市子ども・子育て支援事業計画（素案）に対する

意見・要望とその対応

1 集計表

応募総数 3人 男 1人 女 2人 (意見数12件)				
提出方法の内訳		年代別内訳		備考
郵送	0人	30代	1人	
ファックス	0人	50代	2人	
メール	2人			
提案箱	1人			

2 意見・要望とその対応

項目	意見・要望	計画（案）への対応
第3章 P28 情報提供 の充実	<p>情報誌の提供は、今すぐにでも欲しい。施設や行事ごとを一冊にまとめて一年を通して保存でき、子供に関する緊急時の対応のことも記載が欲しい。</p>	<p>本市では、子育て支援サービス等が利用しやすいよう、関連する制度や施設等の情報をまとめた情報誌「子育てガイドブック みんなきらきら」を毎年度更新発行しております。</p> <p>また、タイムリーな子育て支援事業の紹介や情報の提供をするため、毎月1回市ホームページの情報を更新しております。</p> <p>今後においても、子育て支援サービス等の情報提供体制の充実に努めてまいります。</p>
第3章 P29 親子の健康 支援	<p>親子の健康支援の充実について、充実を求めるのであればぜひ母体に力を入れてほしい。</p> <p>産後の一年は本当に辛いいため、産んだら子の健康だけではなく、母親の健康診断も取り入れるべきだと思う。</p> <p>母にも優しい市であればここで産み、育てたいときと思う。</p>	<p>本市では、妊娠期から子育て期にかけて切れ目のない支援を行うため、母子健康手帳交付時に面談を実施することで妊婦等の状況把握に努め、必要に応じて個別支援プランを作成し、定期的な電話や家庭訪問による支援を行っております。</p> <p>また、出産後におきましては、生後4か月までの乳児がいる家庭に対する全戸訪問事業や養育の支援が特に必要な家庭に対する訪問支援事業を実施し、子どもだけではなく、母親の健康面や精神面等に関しても支援する体制を整えております。</p> <p>さらに、産後の体調や子育てに不安がある方等を対象に、助産師のいる施設で専門的なケアを行う、産後ケア事業も実施しております。</p>
	<p>子供を支援はもちろんで、産後ケアを市でもっと推進するべきではないか。産後は幸せなはずだが体が苦しい。どんなに子育てに充実していても母親にも十分なケアがある市で出</p>	

	産したいと思うから。	今後におきましても、子どもだけではなく、母親支援を推進し、親子の健康支援に努めてまいります。
第3章 P29 食育の推進	食育は大切、HP等にもあるが、自校式は坂戸の子育てのシンボル！ 手作りの大切さ、親の愛情を感じられる大切な一コマ、しっかり伝えて欲しい。	今後も引き続き、安心・安全な食事の提供に努めるとともに、食育を推進してまいります。
第3章 P30 障害児施策の充実	発達障害が認知されつつある中、今後、ゲーム障害（スマホ等）も増大が見込まれる。親の意識も含めた支援（教育）が必要と感じる。 現場職員はもとより、事務方職員も専門知識の習得に努め、適切な支援に繋げていただきたい。	ご意見のとおり、近年、発達障害等に関する相談やゲーム等への依存に関する相談が増加傾向となっております。 今後においても、ゲーム障害を含め、多様化・複雑化する相談に対し適切な支援が図れるよう、各種研修への参加や情報共有等により、職員の技能向上に努めてまいります。
第4章 P36 ①0歳児 ②1～2歳児	「①量の見込み」に関して、出生数が減る見込みではあるが、女性の就業率が増加傾向であるので、量の見込みが適切であるか疑問を感じる。第1期計画に関しても上方修正されたと思うが、いかがでしょうか。	ご指摘のとおり、出生数は減る見込みである一方、近年において保育需要は高まりを見せているものでございます。量の見込みを検討する上で考慮しなければならない大きな要因の一つである、令和元年10月から始まった幼児教育・保育の無償化について、保育需要に対する影響が現時点では不明確なため、今後の動向を注視していくとともに、その他の要因も含め総合的に検討し、適切な対応を図ってまいりたいと考えております。
第4章 P37 確保の内容	認可保育所の年齢別定員構成の見直しは、評価できる。0歳から5歳まで不安無く、継続して一施設で保育が行われることを望みます。 働き方が多様化し、土日が必ずしもお休みで無い方への保育ニーズに関するお考えはいかがでしょう。	保育の必要性のある児童については、5歳まで不安無く、継続して一施設で保育が行われるよう配慮しているところでございます。 また、現在、日曜・祝日における保育は、民間の一時預かり施設において実施されています。認可保育園で休日保育が実施された場合に対する補助金制度もございます。今後も多様なニーズに応えられるよう努めてまいります。

<p>第4章 P40 放課後学 童クラブ</p>	<p>本市の放課後学童クラブは小学校に対応しており、定員を越えそうなクラブもあり、総数での量の見込みは意味が無いと思うが、いかがでしょうか。</p>	<p>本計画においては市全体の総数での量の見込みとしていますが、ご指摘のとおり、地区ごとの需要を満たせるよう、放課後児童クラブの整備を進めてまいりたいと考えております。</p>
<p>第5章 P50 休日保育 事業の充 実</p>	<p>ファミリー・サポート・センター事業に期待するのではなく、保育施設としての確保を期待します。保育所だけでなく、放課後学童クラブも同様です。</p>	<p>現在、日曜・祝日における保育は、民間の一時預かり施設において実施されています。また、認可保育園で休日保育が実施された場合に対する補助金制度もございます。今後も多様なニーズに応えられるよう努めてまいります。</p>
<p>第5章 P50 休日・病後 児保育発 達支援等 の充実</p>	<p>休日・病後児発達障害児保育については、第1期から研究・検討されている施策かと思えます。実施に向けて大きく踏み出していきたい。 公立保育園の老朽化は、かなり厳しいと感じる。対応を切にお願いいたします。</p>	<p>今後においても多様なニーズに応えられるように努めてまいります。 また、老朽化した公立保育園につきましては、順次、改修等を実施してまいります。</p>
<p>その他</p>	<p>市長や担当職員が子どものことを第一に、施策に取り組まれていること、心から感謝しております。 豊島区では、公園の芝生化を進め、若い子育て世代に好評を得ているとのことでした。 厳しい財政状況ですが、市民が各公園や施設で子供たちと憩える場所（目玉施策）があったらステキだと感じております。</p>	<p>今後においても様々な市民ニーズを分析及び研究し、『安心して子育てができるまち「さかど」』の実現に向け、関係部署等と連携し、子育てしやすい環境の整備に努めてまいります。</p>